

The University Times

May 2013 Vol. 27

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken X The Japan Times © THE JAPAN TIMES, LTD. 2013

CONTENTS

■ Visit a Global Company: グローバル企業訪問 株式会社アサツー ディ・ケイ ①②	■ Learn About Industries: この業界を知りたい! ショッピングセンター業界 ⑤	■ Studying Abroad in the USA: 私の米国留学/読んでほしいこの3冊 米国留学記/書籍紹介 ⑧	■ IELTS リーディングテストのコツ ⑪
■ Journalist's Eye: 英字新聞記者の視点 「被災地の今」/「脱法ドラッグ」 ③	■ Column: IELTS Hot News / アゴス・ジャパンに聞く IELTS Hot News / 海外の学部 ⑥	■ Study Abroad Benefits: 留学で培う3つの力 グループワーク力・国際理解力・表現力 ⑨	■ Crossword and Trivia 読み物 ⑫
■ Special Feature: 特別読み物 東京大学 ④	■ News in English 英文記事を読んでみよう ⑦	■ University's Challenge: 国際交流に乗り込む大学 中央大学 ⑩	■ Quebec Special 留学するならケベックだ!! ⑮①~⑮④

Visit a Global Company: グローバル企業訪問

グローバル化の加速する 企業と消費者の架け橋に

Vol.17 株式会社アサツー ディ・ケイ



競合他社に先んじてグローバル時代の到来を予見し、今や世

としてはいち早く中国に進出するなど、チャレンジスピリットにあふれた企業であることだ。中国を皮切りにアジアの広範囲にわたる独自のネットワークを確立しているほか、世界最大級の広告会社とも強力な業務関係を構築。また、北米やヨーロッパ、中東、ロシアと世界約40カ所の拠点に現地法人や合弁会社を擁し、広く海外市場へ展開している。

「今や日本の企業も国内だけを市場としては考えていません。一方で日本を魅力的な市場と捉える海外企業もどんどん増えています。欧米はもちろんのこと、近年は新興国との関係性も飛躍的に広がっています。こうし



アゴス・ジャパンに聞く

海外の気になる学部

by 株式会社アゴス・ジャパン
後藤 道代

最新テクノロジーと人間を結びつけ
新たな可能性を生み出す

MITメディアラボは、1985年に School of Architecture and Planning (建築・計画スクール) に設立された研究大学院で、Media Arts and Scienceの大学院生と研究員が、400近い研究開発プロジェクトを行っています。年間3,500万ドルという運営予算を持ち、80以上のスポンサー企業が付いて共同開発された技術が、私たちの生活を日々進化させています。例えば、スマートフォンの自然言語処理機能のように身近なものから、人間のアキレス腱のような動きをする高性能義足、人間と対話するロボット、ナノレベルの世界まで、この研究所から生まれたものが多数あります。メディアラボの中心となるテーマは、最新テクノロジーと人間を結びつけ、新たな可能性を生み出すことです。言い換えれば、人間の能力の限界にテクノロジーの力で挑み、より良い未来を創ることなのです。

まず、メディアラボの革新の要をたどると、最初のコンセプトは、1980年に Nicholas Negroponte (ニコラス・ネグロポンテ) 教授と元学長の Jerome B.

Wiesner (ジェローム・ウィズナー) によって、生まれました。1985年設立以来、最初の10年は、「デジタル革命」の先陣を切って、認知科学の研究から電子音楽、ホログラフィーなど、人間の表現方法に画期的な進歩をもたらしました。次の10年では、コンピューターを箱から取り出し、デジタル領域をあらゆるものに組み込むことが可能になり、身に付けられるコンピューター、ワイヤレスコミュニケーション、さらには自ら考えるコンピューター(知能機械)などが開発されました。

そして現在、第4代所長に日本人の伊藤 謙一氏が選出され、デザイナーからナノテクノロジー研究者、コンピューターインターフェース先駆者など、様々な分野の専門家が協働し、さらに、オープンに共有することでソーシャルラーニングの力を根子に技術革新を目指しています。

一人の優れた力よりも
多様な能力を持つ集団で学ぶ

一例として、興味深いプロジェクトを紹介します。

数値やロジックなどでは一般化できない

前回のスタンフォード大学の d.school (ディー・スクール) に続き、今回はマサチューセッツ工科大学 (MIT) のメディアラボを紹介します。MIT メディアラボのコンセプトは、「人間の能力の概念を革新すること。d.school とメディアラボの共通点は、「Learn by doing」理論より実践を重視し、多様な分野の専門家が協働して、強力なパワーでダイナミックに挑戦している点です。

人間の「常識」(Common Sense) をコンピューターに組み込み、「自ら学習するコンピューターを作る」という発想から生まれた人工知能プロジェクトに "Open Mind Common Sense" というのがあります。プロジェクトの目的は、インターネット上にユーザーが入力する膨大なデータを利用し、常識をデータベース化します。そこからアルゴリズムを作り、学習機能を備えたコンピューターへと進化していきます。膨大なデータが必要になるため、1999年以降、コモンセンス知識獲得目的のインターネットゲームをばらまき、1万5千人以上のユーザーより100万以上の英語データを蓄積しています。連想ゲームや Twitter のツイートから、ユーザーの「らしさ」をプログラム化していきます。さらに、国や言語、文化地域によって常識が異なることから、多言語への展開も行われています。日本では、電通と日本ユニシスとMITメディアラボの共同開発で、「空気が読めるコンピューターを作る」プロジェクトが2010年に開始されました。従来、コンピューターは情報を入力し溜めるものから、常識データを基に、タイミングよく適切な知識をアウトプットできる、

空気が読めるコンピューターへの開発が進んでいるのです。

MITメディアラボの学生数は約140名。修士課程が60名、博士課程が80名からなり、技術系からアート、音楽、教育まで様々なバックグラウンドの最強の脳髄集団が、未来を切り開いています。「一人の優れた力より、多様な能力を持った人の集まりで学びながら前進すること」。それがメディアラボのカルチャーなのです。

株式会社アゴス・ジャパン
大学・大学院留学のテスト対策、出願対策の指導専門校。トップ校合格に必要な各種英語テストの攻略法および出願カウンセリング指導により、過去3年間で約2,500件以上という、圧倒的な合格実績を誇る。大学のテスト対策講座なども行っている。

■ 東大生の留学体験記を無料で!
iPhone・iPadアプリ「東大より留学」
<https://itunes.apple.com/jp/app/id568008104>

後藤 道代 (ごとう みちよ)

留学カウンセラー歴18年。アゴス・ジャパン留学担当、インディアナ大学教育大学院、言語教育修士、ブリティッシュ・カレッジ公式資格取得カウンセラー